

科目名	数学の世界	
担当者	近藤 正男 / KONDO, Masao	
科目情報	教養科目3群 / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 1年次	
科目概要	授業内容	線形代数学は連立一次方程式の解法に代表されるように、社会の諸分野における数理的考察の基礎をなすものである。本講義では線形代数学の理論とその応用について講ずる。
	到達目標	「ベクトル」、「行列」、「行列式」の扱いに習熟し、その応用として連立一次方程式の解法を学ぶとともに、その中から線形代数学の理論的基礎を学び取ることを目標とする。
授業計画	(1) 多元量としてのベクトルと行列 (2) 多元量としてのベクトルと行列 (3) 多元量としてのベクトルと行列 (4) 行列と一次変換・座標変換 (5) 行列と一次変換・座標変換 (6) 連立一次方程式と行列式 (7) 連立一次方程式と行列式 (8) 連立一次方程式と行列 (9) 連立一次方程式と行列 (10) 連立一次方程式と行列 (11) 行列の標準化と固有値 (12) 行列の標準化と固有値 (13) 行列の標準化と固有値 (14) 線形計画法 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「教科書」を前もって読んでおくこと。
	事後学習	・2または3回おきに、レポートを課す。
使用教材・参考文献	【教】 矢野健太郎・田代嘉宏「社会科学者のための基礎数学（改訂版）」 裳華房，1993年 ISBN 4-7853-1081-2	
成績評価方法と基準	＜方法＞小テスト・レポート（40点） 期末試験（60点）	
備考	教員が指示する『読書』課題の遂行を、受講生の成績評価に加味、あるいは成績評価を受けるための前提とする。詳細は、初回の授業で説明する。	